

INTERNATIONAL FUND FOR ANIMAL WELFARE

news release

本日(1995年2月30日)中に配信お願いいたします

土地所有者への訴えかけ

阪神大震災の被災地神戸で、飼い主を失った動物たちの保護・救済活動をしているアークは、被災地の瓦れきのなかから救助した犬や猫のための、仮住居の建設可能な土地の提供を緊急に求めています。

The International Fund for Animal Welfare (IFAW 国際動物基金)は、こういった動物の救済活動 - 主に犬猫 - に協力しています。IFAW は目下 ARK (アーク Animal Refuge Kansai 大阪府能勢町) に拠点をおき、すでにこれらの犬猫の仮住居の建設に協力してまいりましたが、すでにスペースも尽きました。

IFAW コーディネイター、XXXXXXXXXXは、「もっと多くの動物保護施設を建てるための適切な土地を早急に見つけなければなりません。毎日ここにはいつてくる動物の数は大変な問題です。今必要としているものは、このために一時的に使用可能な土地なのです。」と語っています。

ご提供いただける土地は、市街地域から離れた場所が理想的で、可能ならば、すぐに動物の居住に使用できる建物がそなわっていて、兵庫県地域にあるのが望ましいのですが、大阪、京都、奈良の近くの土地でも結構です。または、尼崎、大阪市内、姫路あるいは伊丹などの地域の工場地も歓迎いたします。

「これらの動物の世話に供される、適切な収容場所を確保することが先決問題です。多